

平成24年 8月23日

塩田地域協議会
会長 南雲典子 様

上田市長 母袋 創 一
(上田地域自治センター 塩田地域自治センター)

回 答 書

平成24年3月27日付で貴地域協議会から提出のあった意見書について、下記のとおり回答します。

記

1 件 名	地域公共交通の充実について
2 意見内容	<p>上田市では、安心して快適な市民生活を送るうえで必要不可欠な公共交通の維持確保に向けまして、「公共交通活性化プラン」に基づき、本年度から国の新たな補助制度である「地域公共交通確保維持改善事業」を活用して、路線バスや循環バスの維持確保と別所線再生のための安全対策支援を実施していただいているところであります。</p> <p>しかしながら、依然として公共交通の利用者は減少しており、危機的な状況に直面しております。</p> <p>市では新たな施策として、特に都市機能として不可欠なバス路線の維持確保及び活性化を目指して、新たな視点と逆転の発想を持って多様な利用目的や効果を生み出す「路線バスの運賃低減策」の実現に取り組まれていると聞いております。</p> <p>塩田地域では、安心して暮らせるまちづくりに不可欠な公共交通ネットワークの維持確保に向けて、「乗って残す」「乗らなければ無くなる」をキーワードに引き続き積極的に利用する運動を展開してまいりますので、地域公共交通の充実に向けて引き続き上田市からの公的支援を賜りますよう強く要望いたします。</p> <p style="text-align: right;">平成24年3月27日 塩田地域協議会 会長 大口 義明</p>

3 回答内容

市では、合併により拡大した市域の住民ニーズを反映した新たな交通体系の構築を目指して、平成20年3月に「上田市公共交通活性化プラン」を策定し、このプランに基づき、国の「地域公共交通活性化・再生総合事業」の採択を受け、平成20年度以降3年間にわたり、別所線のラッピング、循環バスの実証運行、鉄道との相互利用の促進を図るため、上田駅等における乗り継ぎ案内板の整備、バスマップの作成等の事業を実施してまいりました。

平成23年度から新たに国土交通省の地域確保維持改善事業がスタートしたところではありますが、上田市におきましてもこの制度を活用するため、昨年6月に「上田市生活交通ネットワーク計画」を策定し、9月末にネットワーク計画の認定を受けたところでもあります。塩田地域につきましては、別所線の安全対策事業、バス関係では塩田線が補助対象路線に位置づけられたところでありまして、この補助制度を活用しながら、維持確保及び利用促進に努めております。

また、依然として公共交通の利用者は減少しており、厳しい状況が続いていることから、バス路線等を確保・維持・活性化するため、新たな視点で多様な利用目的や効果を生む「路線バスの運賃低減施策」を実現するため、平成24年度当初予算に委託調査費を予算化したところでもあります。

この運賃低減施策については、利用者の目線に立ち、乗ってもらえるバスとなり、真に利用者の増加につながる、また上田市の実情にあった施策について、総合的な見地から検討を進めてまいります。

今後運賃低減施策の具体化にあたっては、公共交通の厳しい状況をご認識いただき、地域の皆様と協働して運行形態や利用促進策について検討していくことが重要であると考えており、地域の皆様と連携しながら、ニーズの把握に努めるとともに、路線ごとにルート、ダイヤ等を検証しながら、効果的かつ効率的な運行及び公共交通の利用促進を目指して積極的に取り組んでまいります。

いずれにいたしましても、市といたしましては、安心して暮らせるまちづくりに不可欠な公共交通ネットワークの確保に向け取り組んでまいりますので、「乗って残す」、「乗って活かす」を念頭に、地域の皆様の積極的なご利用をお願いいたします。

(都市建設部地域交通政策課)